



「展望台からの眺望」



薩埵峠展望台（山の神展望台）

漁師の網にかかって引き上げられた地藏菩薩像（薩埵の地藏）を山上に祀ったことからその名が付いたと言われる薩埵峠。歌川広重が描いた当時とほぼ同じ風景が望めるのは、五十三次の中でもここだけと言われています。薩埵峠は古来より東の箱根峠、西の鈴鹿峠の間にあり東海道の三大難所として知られています。特に興津側からのコースは、昔の峠の厳しさを思わせる上り坂が続きます。

寺尾・倉沢の町並

由比町の西に位置する、寺尾地区、倉沢地区。狭い道の両側に軒を連ねる格子づくりの家並みなど、旧東海道「間の宿」の風情が色濃く残り、江戸時代の面影が偲ばれる街道です。



寺尾地すべり跡

昭和36年3月由比町寺尾地区で大規模な地すべりが発生しました。この時に地すべりで移動した土砂の量は東京ドームを埋め尽くすほどの量（約120万m³）で、この土砂によって現在の東名高速が通る海岸部が埋め立てられました。海からは現在の寺尾地すべりの跡をご覧ください。



海から見た地すべり防止区域

薩埵山周辺の約58haにおよぶ由比地すべり防止区域全体を海からご覧いただけます。この区域内に3つの地すべりブロックが確認され、国土交通省富士砂防事務所が平成17年度より由比地すべり対策事業を行っています。



東海道広重美術館

全国で初めて浮世絵師歌川広重の作品を中心にコレクションされた美術館。広重の作品をメインに1,300余点の版画が収集されています。その中には、世界に数点しか存在しないといわれる「木曾海道六十九次の内・中津川」のような貴重な作品も含まれており、浮世絵芸術の素晴らしさを満喫することができます。



地すべり管理センター

地すべりに関する知識・情報を知ることが出来る施設です。地すべり防止施設について模型やパネルの展示でわかりやすく学ぶことが出来ます。また、地すべりを24時間監視しており、由比町を地すべりから守る機能も果たしています。

人々が行き交う街「由比」の暮らしを支える防災 －由比地すべり対策事業の重要性－



地すべりフォーラム2007 in 由比

由比町は日本の東西を結ぶ大動脈（国道1号・東名高速道路・JR東海道本線・情報通信網など）が急峻な山地と海との間を並走している交通の要衝です。しかしながら脆弱な地質特性を有することから、昔から地すべりを始めとする土砂災害が発生し、甚大な被害を受けてきました。

近年においても、昭和36年に寺尾地区で発生した大規模な地すべりや昭和49年の七夕豪雨による地すべりなどの土砂災害が発生しています。平成13年12月の中央防災会議公表資料によれば、東海地震が発生した場合、この地域は震度6強もしくは7の揺れが想定されています。また、平成16年度に設立された「由比地すべり対策検討委員会」の調査結果により、地すべり地帯に特徴的に見られる地すべり地形が薩埵山周辺に確認され、豪雨や東海地震などにより大規模な地すべりが発生することが懸念されます。このことから、平成17年度より国土交通省富士砂防事務所は由比地すべり対策事業に着手しました。事業着手を契機に、由比地すべり対策事業が行われる背景やその重要性について広く理解を得るとともに、その周辺の歴史・文化について再認識していただき、地域の防災意識の向上に資することを目的として「地すべりフォーラム2007 in 由比」を開催致します。

プログラム

開催日程: 平成19年1月18日(木)～19日(金)

1月18日(木) 《フォーラム》《意見交換会》
●由比町町民センター大ホール 13:00～17:00
1月19日(金) 《現地見学会》
●薩埵峠 コース 9:00～12:30
●船 上コース 9:00～12:30

■主催: 「地すべりフォーラム2007 in 由比」実行委員会
■後援: 国土交通省 静岡県 由比町 (社)日本地すべり学会 (社)砂防学会 (社)全国治水砂防協会 (財)砂防・地すべり技術センター (財)砂防フロンティア整備推進機構 (社)斜面防災対策技術協会 全国地すべりがけ崩れ対策協議会 (社)中部建設協会 東海旅客鉄道(株) 中日本高速道路(株) 国立大学法人静岡大学 静岡新聞社・静岡放送 NHK静岡放送局

1月18日(木)《フォーラム》《意見交換会》 12:00 受付開始 ●由比町町民センター大ホール

時 間	内 容	
13:00	開 会	主催者挨拶 来賓挨拶
13:20	研究発表	由比町の紹介「私たちの暮らす由比町」 由比小学校 生徒
13:50	第一部	由比に関する出題と解答 「由比ってどんなところ？」 司会者 山口 真未 地元在住アナウンサー 解説者 土 隆一 静岡大学 名誉教授 小和田 哲男 静岡大学 教育学部 教授 丸井 英明 (社)日本地すべり学会 会長 出演者 由比小学校・由比北小学校
14:50	歓迎アトラクション	由比北小学校「竹太鼓」演奏
15:10	休 憩	
15:25	第二部	パネルディスカッション:『由比地すべり対策のあり方』 由比の歴史・文化を踏まえた由比地すべり対策事業の今後について討論します。 コーディネーター 山崎 登 NHK 解説委員 パネリスト 土屋 智 静岡大学農学部 教授 望月 俊明 由比町長 田中 実 静岡新聞社 東部総局 編集部長 望月 ひろみ 由比小学校 PTA会長 コメンテーター 亀江 幸二 国土交通省 砂防部長
17:00	閉 会	
18:00	意見交換会	歓迎アトラクション 和太鼓の会「薩埵太鼓」
19:00	閉 会	

出演者プロフィール

第一部 由比に関する出題と解答

解説者



土 隆一（つち りゅういち）
 静岡大学名誉教授・地球科学
 昭和26年東京大学理学部地質学
 静岡大学文理学部助手、講師、助
 静岡大学理学部教授（地球科学）な
 とは静岡大学名誉教授。また、東海
 所代表なども歴任。専門は地質学
 然災害、地下水。

解説者



小和田 哲男（おわだ てつお）
 静岡大学教育学部 教授
 1944年、静岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。静岡大学教授、専攻は日本中世史、文学博士。
 NHKテレビ「その時歴史が動いた」や教育テレビ「歴史で見る日本」などにも出演し、わかりやすい解説は定評がある。
 また1996年NHK大河ドラマ「秀吉」に引き続き、2006年「功名が辻」でも時代考証を務める。
 「信長 徹底分析七研究」「山内一豊」「寛永千代の理由」「近代史研究の巨匠」小和田哲男著作集（全7巻）『日本の歴史がわかる本』など著書多数。

解説者



丸井 英明 (まるい ひであき)

(社)日本地すべり学会長
昭和50年3月信州大学大学院修士課程修了
昭和58年4月 オーストラリア・ウィーン農科大学砂防及び雪崩防止研究所客員研究員。平成元年7月新潟大学自然科自然科学科助手、平成2年1月新潟大学横巻地域災害調査センター助教授を経て、平成9年4月新潟大学横巻地域災害調査センター教授。
現在、新潟大学災害復興科学センター教授、(社)日本地すべり学会会長、(社)砂防学会理事、日本雪害学会理事、国際防災学会INTERPAAVENT理事、学術委員。学位 農学博士(京都大学)、自然工学士(ウィーン農科大学)

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター



山崎 登 (やまざき のぼる)

NHK解説委員

長野県大町市生まれ。昭和51年NHK入局。昭和63年東京の報道局社会部の災害班に所属。伊東沖海底噴火・イラン地震、創設局地震を取材。平成3年4月に「特報首都圏」キャスター。平成7年版神大震災を取材。平成7年報道局社会部で災害班デスク。平成10年報道局社会部で災害班デスク。平成12年NHK解説委員(自然災害、防災担当)。「土砂災害防止指針の集い」では、第20回(岐阜大会)、第22回(愛媛大会)、第23回(鹿児島大会)においてコーディネーターを務めた。

パネリスト



土屋 智 (つちや さとし)
静岡大学農学部 教授
昭和51年 静岡大学農学部卒業、昭和53年 同大学研究科修士課程修了。
昭和60年～昭和62年まで 建設省土牛研究所砂防部地すべり 研究室部外研究員に。
昭和62年 静岡大学農学部助教授を経て平 成9年同大学農学部教授に就任。
平成2年 農学博士（名古屋大学）となる。
主な著書に「地震砂防」「情報処理演習」等。

パネリスト



望月 俊明 (もちづき としあき)

由比町長

昭和24年8月19日生まれ

昭和47年3月 東京農業大学卒業

昭和48年4月～昭和49年3月
由比町連合青年団長

平成元年4月～平成2年3月
由比町立由比中学校PTA会長

平成3年5月～平成15年4月
由比町議会議員

平成11年5月～平成13年4月
由比町議会議長

平成15年4月～現在
由比町長

パネリスト



田中 実（たなか みる）
 静岡新聞社東部総局 編集部部長
 昭和32年5月26日生まれ。
 静岡県庵原郡富士川町出身（由比町
 富士高―早稲田大を経て、昭和57年
 入社。社会部、水産支局、榎原支局の
 局に赴任。伊東支局で海底火山の取
 組その後、浜松総局で7年、経済担当。
 島支局の後、平成18年8月から現職

パネリスト



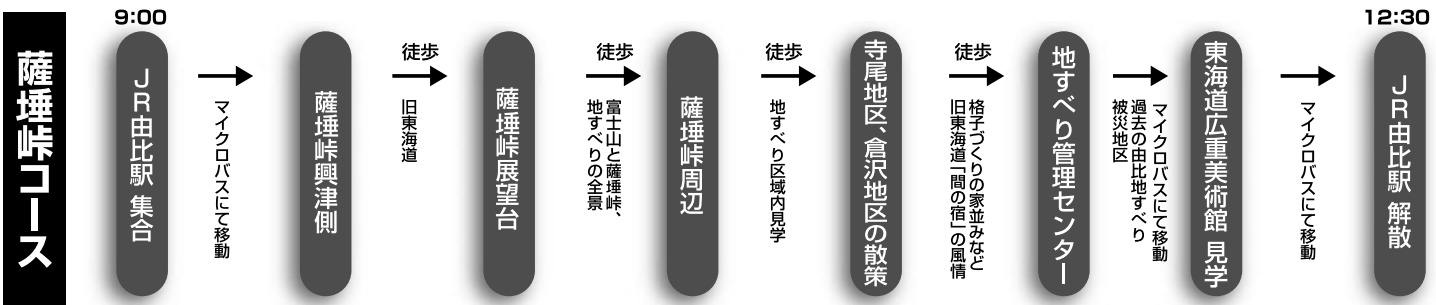
望月 ひろみ (もちづき ひろみ)
由比小学校 PTA会長
静岡県清水市(現 静岡県清水区)出身。
短大卒業後、静岡県内企業を経て、結婚
して母。現在、2児のお子さんを持ち、1
校PTA会長を務める。また、由比町総
議会委員を務める。「産業カウンセラ
ン格取得に向けて労働法令、心理学等を勉
め、町内の防災訓練などにも積極的に参
与。育面だけでなく、防災面からも由比町に

コメンテーター

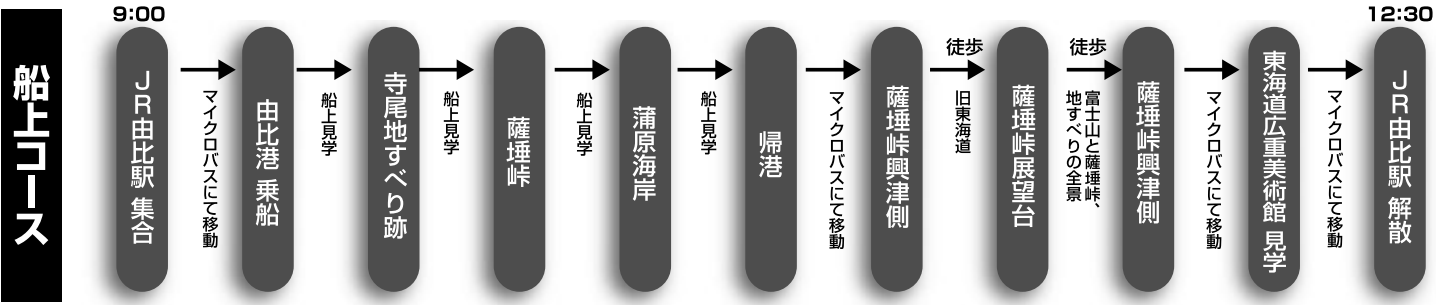


亀江 幸二（かめえ こうじ）
 国土交通省河川局 砂防部長
 昭和26年 愛知県生まれ
 平成6年 建設省砂防部 砂防課砂防事業調整官
 平成9年 新潟県土木部 砂防課長
 平成10年 ネパール王国派遣（JICA砂防専門家）
 平成14年 国土交通省砂防部 保全課長
 平成15年 国土交通省砂防部 砂防計画課長
 平成17年8月 現職

1月19日(金)《現地見学会》 ●薩埵峠 コース 9:00~12:30 ●船 上 コース 9:00~12:30



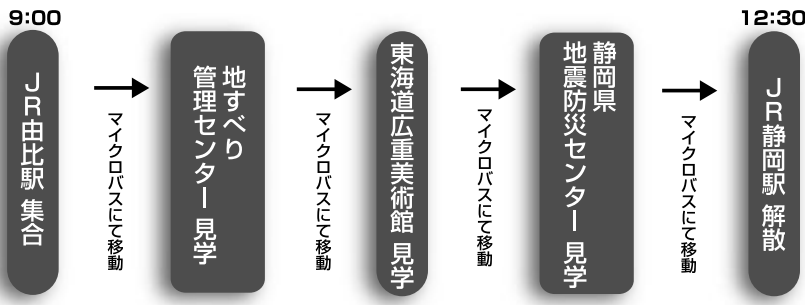
※荒天の場合はコース内容は変更になります。



※晴天時でも波が高い場合、出航できないことがあります。その場合、薩埵峠コースに変更させていただきます。予めご了承ください。

荒天時の現地見学会について ■参加費:¥600(保険代+美術館入場料)

※荒天時は下記のコースに変更となります。



※荒天時の解散場所はJR静岡駅となります。ご注意ください。

